

未就園児と交流…苦戦？

豊田・松平高校生 進路選択見据え

豊田市の松平高校の一年生十九人が四日、近くの松平交流館で開かれた「こどもひろばぽけっと」で、未就園児と交流した。



「子どもの発達と保育」

の授業の一環で、ライフコーデイネート科の生徒が進路選択の参考にしているが目的。交流館が協力して三年目の取り組みで、交流館が募集した市内の十六組の未就園児と親が参加した。

生徒は、絵本の「おおきなかぶ」のカブをイモに置きかえ、大きく育ったイモを力を合わせて引っっこ抜く劇を披露。その後、劇をイメージしてひもを引っ張る遊びを一緒に楽しんだ。写真。途中でひもの引っ張り合いを飽きてしまつ子どもも。保育士を志望する秋山

実夏子さん(右)は「もつ少し一緒に楽しんでくれると思っていた。今後の授業で、子どもの接し方を意識して学びたい」と話した。

(福沢和義)